

機械システム工学科カリキュラムツリー (2025年度生)

標準的な履修年次	第1年次		第2年次		第3年次		第4年次	
グレード	グレードⅠ		グレードⅡ				グレードⅢ	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期
理工学共通科目	数学基礎Ⅰ(1) 数学基礎Ⅱ(1) 物理基礎Ⅰ(1) 物理基礎Ⅱ(1)				知的財産権(2)			
	電気回路基礎(2) — 電子回路基礎(2)				管理工学(2)		協定校単位互換科目(2)	
数学・物理科目	解析学Ⅰ(2) — 解析学Ⅱ(2) 線形代数Ⅰ(2) — 線形代数Ⅱ(2)		応用数学Ⅰ(2) — 応用数学Ⅱ(2)		フーリエ・ラプラス解析(2)		複素解析(2)	
	確率・統計Ⅰ(2) — 確率・統計Ⅱ(2) 力学Ⅰ(2) — 力学Ⅱ(2) 物理学Ⅰ(2) — 物理学Ⅱ(2)				解析力学(2) — 統計力学(2)		理工学コース	
機械工学基礎科目	製図学(2)		機械製図学(2)		機械設計製図(2)			
	機械製作法(2)		機械設計法Ⅰ(2)		機械設計法Ⅱ(2) — 機械設計法演習(2)			
	機械工学概論(2)	機械物理実験(2)		機械工学実験(2)		計測工学(2)		
演習	コンピュータプログラミング(2)		数値計算・同演習(2)		コンピュータ支援設計(2)		数値シミュレーション(2)	
	学外実習Ⅰ(2)				学外実習Ⅱ(2)		英書講読(1) 卒業論文Ⅰ(2) — 卒業論文Ⅱ(2)	
材料コース	工業材料Ⅰ(2)		工業材料Ⅱ(2)		工業材料Ⅱ(2)		弾性力学(2)	
			材料加工Ⅰ(2) — 材料加工Ⅱ(2) 材料力学Ⅰ(2) — 材料力学Ⅱ(2) 材料力学Ⅰ演習(2) — 材料力学Ⅱ演習(2)		材料力学Ⅲ(2) — 連続体力学(2)		塑性力学(2)	
熱・流体コース			流れ学Ⅰ・同演習(2) — 流れ学Ⅱ・同演習(2) — 流れ学Ⅲ(2) 熱力学Ⅰ・同演習(2) — 熱力学Ⅱ・同演習(2) — 熱力学Ⅲ(2)				流体工学(2) 伝熱工学(2) エネルギー変換工学(2) 移動現象論(2)	
			デジタル制御・同演習(2)		機械力学Ⅰ・同演習(2) — 機械力学Ⅱ・同演習(2) — 機械力学Ⅲ(2) 制御工学Ⅰ・同演習(2) — 制御工学Ⅱ・同演習(2) — 制御工学Ⅲ(2)			
理工学コース					解析力学(2) 統計力学(2)		複素解析(2)	
(理工学コースの科目のカリキュラムツリーについては数学・物理科目欄を参照)								

教養科目	【B群I類】 Academic English for Science I ~ 4				
	【B群I類】 全学共通教養教育科目（英語）				
	【B群II類】 全学共通教養教育科目（英語・イタリア語以外の外国語教育科目）				
	【B群II類】 日本語・日本文化教育科目（日本語科目）				
	【B群III類】 他学部設置科目 全学共通教養教育科目 同志社女子大学単位互換科目 大学コンソーシアム京都単位互換科目 チュービンゲン大学IES科目 日本語・日本文化教育科目				
	【B群III類】 同志社科目及びその関連科目				
教職用科目（C群）	地学概論 I	地学概論 II	物理実験	幾何学 I	幾何学 II
	地学実験				代数学
	生物学概論 I				数理統計学
		生物学実験			コンピュータと数学
				化学実験	

※科目名の後ろの括弧内の数字は単位数を示す

上のカリキュラムツリーに示すように、授業科目は必修科目および選択科目A群にまたがって「理工学共通科目」、「数学・物理科目」、「機械工学基礎科目」、「機械工学専門科目」の4区分からなり、選択科目A群II類（専門系共通選択科目）の「機械工学専門科目」は材料コース、熱・流体コース、機力・制御コース、理工学コースの4コースが含まれる。ツリー中、太枠は必修科目を、細枠は選択科目A群I類（必修選択科目）を、枠なしは選択科目A群II類を示す。さらに、上のツリーでは関係の深い科目が—線で結ばれている。ツリーの左寄りの科目から順番に履修することが望ましい。特に=線で結ばれた科目については、線の左側の科目を前学期までに登録しているか、同一学期に登録していなければ、右側の科目は登録できない。「機械工学専門科目」の履修にあたっては、各自4コースの中から1つを選択し、そのコースの科目を主として、カリキュラムツリーにしたがって履修すること。選択科目A群I類（必修選択科目）は卒業の要件としてすべての科目を必ず登録・履修することが必要であり、その修得条件は履修単位要件（卒業必要単位（最少）数表参照）によって規定されている。

<凡例>	
必修科目	[太枠]
選択科目A群I類 （必修選択科目）	[細枠]
選択科目A群II類	枠なし
選択科目 （B群・C群）	[枠]

機械システム工学科（2025年度生）

機械システム工学科カリキュラムツリー (2023~2024年度生)

標準的な履修年次	第1年次		第2年次		第3年次		第4年次	
グレード	グレードⅠ		グレードⅡ				グレードⅢ	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期
理工学共通科目	数学基礎Ⅰ(1) 数学基礎Ⅱ(1) 物理基礎Ⅰ(1) 物理基礎Ⅱ(1)				知的財産権(2)			
	電気回路基礎(2) — 電子回路基礎(2)				管理工学(2)		協定校単位互換科目(2)	
数学・物理科目	解析学Ⅰ(2) — 解析学Ⅱ(2) 線形代数Ⅰ(2) — 線形代数Ⅱ(2)		応用数学Ⅰ(2) — 応用数学Ⅱ(2)		フーリエ・ラプラス解析(2)		複素解析(2)	
	確率・統計Ⅰ(2) — 確率・統計Ⅱ(2) 力学Ⅰ(2) — 力学Ⅱ(2) 物理学Ⅰ(2) — 物理学Ⅱ(2)				解析力学(2) — 統計力学(2)		理工学コース	
機械工学基礎科目	製図学(2)		機械製図学(2)		機械設計製図(2)			
	機械製作法(2)		機械設計法Ⅰ(2)		機械設計法Ⅱ(2) — 機械設計法演習(2)			
	機械工学概論(2)	機械物理実験(2)		機械工学実験(2)		計測工学(2)		
演習	コンピュータプログラミング(2)		数値計算・同演習(2)		コンピュータ支援設計(2)		数値シミュレーション(2)	
	学外実習Ⅰ(2)			学外実習Ⅱ(2)		特別機械工学実験(2)		英書講読(1) 卒業論文Ⅰ(2) — 卒業論文Ⅱ(2)
材料コース	工業材料Ⅰ(2)		工業材料Ⅱ(2)		工業材料Ⅱ(2)		弾性力学(2)	
			材料加工Ⅰ(2) — 材料加工Ⅱ(2) 材料力学Ⅰ(2) — 材料力学Ⅱ(2) 材料力学Ⅰ演習(2) — 材料力学Ⅱ演習(2)	材料力学Ⅲ(2) — 連続体力学(2)				塑性力学(2)
熱・流体コース			流れ学Ⅰ・同演習(2) — 流れ学Ⅱ・同演習(2) 熱力学Ⅰ・同演習(2) — 熱力学Ⅱ・同演習(2)	流れ学Ⅲ(2) 熱力学Ⅲ(2)		流体工学(2)		伝熱工学(2) エネルギー変換工学(2)
			移動現象論(2)					
機力・制御コース			デジタル制御・同演習(2)	機械力学Ⅰ・同演習(2) — 機械力学Ⅱ・同演習(2) — 機械力学Ⅲ(2) 制御工学Ⅰ・同演習(2) — 制御工学Ⅱ・同演習(2) — 制御工学Ⅲ(2)				
理工学コース					解析力学(2) 統計力学(2)		複素解析(2)	
					(理工学コースの科目のカリキュラムツリーについては数学・物理科目欄を参照)			

教養科目	【B群I類】 Academic English for Science 1 ~ 4				
	【B群I類】 全学共通教養教育科目（英語）				
	【B群II類】 全学共通教養教育科目（英語・イタリア語以外の外国語教育科目）				
	【B群II類】 日本語・日本文化教育科目（日本語科目）				
	【B群III類】 他学部設置科目 全学共通教養教育科目 同志社女子大学単位互換科目 大学コンソーシアム京都単位互換科目 チュービンゲン大学IES科目 日本語・日本文化教育科目				
	【B群III類】 同志社科目及びその関連科目				
教職用科目（C群）	地学概論 I	地学概論 II	物理実験	幾何学 I	幾何学 II
	地学実験				代数学
	生物学概論 I	生物学実験			数理統計学
				コンピュータと数学	
				化学実験	

※科目名の後ろの括弧内の数字は単位数を示す

上のカリキュラムツリーに示すように、授業科目は必修科目および選択科目A群にまたがって「理工学共通科目」、「数学・物理科目」、「機械工学基礎科目」、「機械工学専門科目」の4区分からなり、選択科目A群II類（専門系共通選択科目）の「機械工学専門科目」は材料コース、熱・流体コース、機力・制御コース、理工学コースの4コースが含まれる。ツリー中、太枠は必修科目を、細枠は選択科目A群I類（必修選択科目）を、枠なしは選択科目A群II類を示す。さらに、上のツリーでは関係の深い科目が—線で結ばれている。ツリーの左寄りの科目から順番に履修することが望ましい。特に—線で結ばれた科目については、線の左側の科目を前学期までに登録しているか、同一学期に登録していなければ、右側の科目は登録できない。「機械工学専門科目」の履修にあたっては、各自4コースの中から1つを選択し、そのコースの科目を主として、カリキュラムツリーにしたがって履修すること。選択科目A群I類（必修選択科目）は卒業の要件としてすべての科目を必ず登録・履修することが必要であり、その修得条件は履修単位要件（卒業必要単位（最少）数表参照）によって規定されている。

<凡例>	
必修科目	<input type="checkbox"/>
選択科目A群I類 （必修選択科目）	<input type="checkbox"/>
選択科目A群II類	枠なし
選択科目 （B群・C群）	<input type="checkbox"/>

機械システム工学科（2023～2024年度生）

機械システム工学科カリキュラムツリー (2015～2022年度生)

標準的な履修年次 グレード	第1年次 グレードⅠ		第2年次 グレードⅡ		第3年次		第4年次 グレードⅢ	
			Ⅱ a		Ⅱ b			
	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期
理工学共通科目	数学基礎Ⅰ(1) 数学基礎Ⅱ(1) 物理基礎Ⅰ(1) 物理基礎Ⅱ(1)				知的財産権(2)			
	電気回路基礎(2) — 電子回路基礎(2)				管理工学(2)		協定校単位互換科目(2)	
数学・物理科目	解析学Ⅰ(2) — 解析学Ⅱ(2) 線形代数Ⅰ(2) — 線形代数Ⅱ(2)		応用数学Ⅰ(2) — 応用数学Ⅱ(2)		フーリエ・ラプラス解析(2) — 複素解析(2) 解析力学(2) — 統計力学(2)		理工学コース	
	確率・統計Ⅰ(2) — 確率・統計Ⅱ(2) 力学Ⅰ(2) — 力学Ⅱ(2) 物理学Ⅰ(2) — 物理学Ⅱ(2)							
機械工学基礎科目	製図学(2)		機械製図学(2)		機械設計製図(2) — コンピュータ支援設計(2) 機械設計製作(2)			
	機械製作法(2)		機械設計法Ⅰ(2) — 機械設計法Ⅱ(2) — 機械設計法演習(2)		機械工学実験(2) 計測工学(2)			
	機械工学概論(2)		機械物理実験(2)		数値計算・同演習(2) — 数値シミュレーション(2)			
演習	学外実習Ⅰ(2)		コンピュータプログラミング(2)		学外実習Ⅱ(2)		英語講読(1) 卒業論文Ⅰ(2) — 卒業論文Ⅱ(2)	
					特別機械工学実験(2)			
材料コース	工業材料Ⅰ(2)		工業材料Ⅱ(2)		工業材料Ⅱ(2)		弾性力学(2)	
			材料加工Ⅰ(2) — 材料加工Ⅱ(2) 材料力学Ⅰ(2) — 材料力学Ⅱ(2) — 材料力学Ⅲ(2) — 連続体力学(2) 材料力学Ⅰ演習(2) — 材料力学Ⅱ演習(2)				塑性力学(2)	
熱・流体コース			流れ学Ⅰ・同演習(2) — 流れ学Ⅱ・同演習(2) — 流れ学Ⅲ(2) 熱力学Ⅰ・同演習(2) — 熱力学Ⅱ・同演習(2) — 熱力学Ⅲ(2)				流体工学(2) 伝熱工学(2) エネルギー変換工学(2) 移動現象論(2)	
			デジタル制御・同演習(2)		機械力学Ⅰ・同演習(2) — 機械力学Ⅱ・同演習(2) — 機械力学Ⅲ(2) 制御工学Ⅰ・同演習(2) — 制御工学Ⅱ・同演習(2) — 制御工学Ⅲ(2)			
理工学コース					解析力学(2) 統計力学(2)		複素解析(2)	
					(理工学コースの科目のカリキュラムツリーについては数学・物理科目欄を参照)			

教養科目	【B群I類】 Academic English for Science I ~ 4					
	【B群I類】 全学共通教養教育科目（英語）					
	【B群II類】 全学共通教養教育科目（英語・イタリア語以外の外国語教育科目）					
	【B群II類】 日本語・日本文化教育科目（日本語科目）					
	【B群III類】 他学部設置科目 全学共通教養教育科目 同志社女子大学単位互換科目 大学コンソーシアム京都単位互換科目 チュービンゲン大学IES科目 日本語・日本文化教育科目					
	【B群III類】 同志社科目及びその関連科目					
教職用科目（C群）	地学概論 I	地学概論 II	物理実験	幾何学 I	幾何学 II	
	地学実験				代数学	
	生物学概論 I				数理統計学	
		生物学実験			コンピュータと数学	
				化学実験		

※科目名の後ろの括弧内の数字は単位数を示す

上のカリキュラムツリーに示すように、授業科目は必修科目および選択科目A群にまたがって「理工学共通科目」、「数学・物理科目」、「機械工学基礎科目」、「機械工学専門科目」の4区分からなり、選択科目A群II類（専門系共通選択科目）の「機械工学専門科目」は材料コース、熱・流体コース、機力・制御コース、理工学コースの4コースが含まれる。ツリー中、太枠は必修科目を、細枠は選択科目A群I類（必修選択科目）を、枠なしは選択科目A群II類を示す。さらに、上のツリーでは関係の深い科目が一線で結ばれている。ツリーの左寄りの科目から順番に履修することが望ましい。特に一線で結ばれた科目については、線の左側の科目を前学期までに登録しているか、同一学期に登録していなければ、右側の科目は登録できない。

「機械工学専門科目」の履修にあたっては、各自4コースの中から1つを選択し、そのコースの科目を主として、カリキュラムツリーにしたがって履修すること。選択科目A群I類（必修選択科目）は卒業の要件としてすべての科目を必ず登録・履修することが必要であり、その修得条件は履修単位要件（卒業必要単位（最少）数表参照）によって規定されている。

<凡例>	
必修科目	<input type="checkbox"/>
選択科目A群I類 （必修選択科目）	<input type="checkbox"/>
選択科目A群II類	枠なし
選択科目 （B群・C群）	<input type="checkbox"/>

機械システム工学科（2015～2022年度生）